

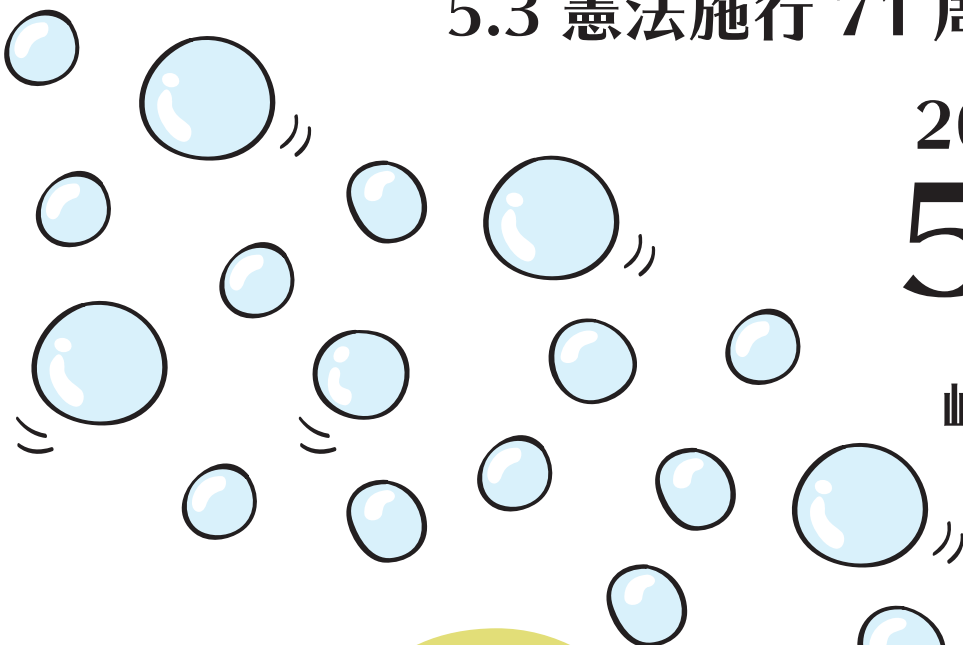
# 5.3 憲法施行 71 周年記念岐阜講演会

2018 年  
**5 月 3 日**

13:30 開場

岐阜市文化センター

小劇場 岐阜市金町 5-7-2  
TEL058-262-6200



時事問題に関するブログ「五十嵐仁の転成仁語」が面白い!

五十嵐さんの講演は理論的で、多彩なしゃべりで実に面白かった!

**反核・平和への活路をさぐる…  
安倍 9 条改憲論をのりこえて**



講師

**五十嵐 仁**

法政大学名誉教授



著書

『18 歳から考える日本の政治』  
(法律文化社)  
『活路は共闘にあり…  
社会運動の力と「勝利の方程式」』  
(学習の友社)

13:30 開場

13:40 憲法問題 DVD 上映

14:00 開会・連帯あいさつ

14:20 講演

16:00 閉会あいさつ

資料代 500 円

憲法改悪阻止岐阜県各界連絡会議

憲法 9 条を守る岐阜県共同センター

連絡先・岐阜県労連内 TEL058-252-3013 FAX058-253-4996

## 日本国憲法 第9条

1 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

2 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

私は「反響の法則」が働くだろうと言ってきました。太鼓を弱く打てば小さな音が、強く打てば大きな音が響き渡ります。戦争法案の成立を目指した安倍首相は思い切りつよくたいこをたたき、そのためにこれまでにない大きな音が反響しました。……その「反響」はその後も続きました。その一つが、戦争法廃止の2000万署名運動であり、もう一つが戦争法廃止と立憲主義回復を求めた「市民と野党共闘」で、野党統一候補の擁立を実現したことです。<著書『活路は共闘にあり…社会運動の力と「勝利の方程式」』より>

この「市民と野党の共闘」を広げることこそ、「戦争法廃止・安倍改憲NO!」を実現する「活路」であり「勝利の方程式」だと、五十嵐さんが語りかけてくれます。ご期待ください。

「五十嵐仁の転成仁語」より【<http://igajin.blog.so-net.ne.jp/>】

安倍首相の答弁の変化という点では、9条改憲問題についての対応も変わってきています。これまでは、野党の質問に対して総理と総裁の立場を使い分け、国会では正面から答えることを避け、憲法審査会での議論に任せるような形で自民党に丸投げしてきました。しかし、通常国会が始まってからは、9条改憲に対する野党の質問に踏み込んだ答弁をするようになっていきます。例えば、2月5日の衆院予算員会で安倍首相は、自らの案について「9条第2項の規定を残し、自衛隊の存在を憲法に明記することによって、自衛隊の任務や権限に変更が生じることはない」と繰り返し、「自衛隊の正当性を明文化、明確化することは、わが国の安全の根幹に関わる。改憲の十分な理由になる」と述べ、「自衛隊が合憲であることは政府の一貫した立場で、国民投票でたとえ否定されても変わらない」と強調しました。……いくら答弁しても一体何のために改憲するのか説明できないジレンマと矛盾に満ちたものになっています。……安倍首相の焦りといら立ちも募ってきているようです。オリンピック開会式での孤立した姿や野党の質問にまともに答えられない国会答弁のあり方などに、それが如実に表れてきているように思うのは私だけでしょうか。